

緑寿苑だより

秋を感じられる季節がやってきたと思っていましたが、突然の寒波！！一気に冬の訪れも垣間見え、北国ではもう雪が降っているようです。寒暖の差が激しい日々が続いておりますので、風邪等体調を崩されないようにお過ごし下さい。



11月



～ 3階・運動会 ～



10月5日（水）に、3階ホールで運動会を開催しました。“スポーツの秋”という事で、日ごろあまりできない運動をして気分転換して頂き、秋と言う季節を感じて頂く目的でレクリエーションを企画しました。



チーム戦の形を取り、“緑”“寿”の2つのチームに分かれて頂きました。チームにて競い合う競技で、いつもと違う雰囲気味わって頂きました。

まずは、“トイレットペーパー綱引き”をしました。これは個人戦で、トイレットペーパーを適当な長さで切り、その両端を持って引っ張り合い、切れた長さの長い方が勝ち、と言う地味な競技ですが、利用者様各々が静かに闘志を燃やしておられ、とても盛り上がりました。次に、“ボール送り”をしました。一列に並んで座って、順にボールを次の方へ回していく競技で、全員の協力がないと勝利出来ない競技だけに、大変白熱した勝負となりました。チーム戦の結果



は、1勝1敗の引き分けでした。笑いが絶えず、にこやかな中にも、「はやく！」「次にまわして！」と力の入った大きな声もでて、利用者様方も興奮されていました。普段見られない利用者様の姿を見ることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。



訪問リハビリの取り組み ～求められる今後の展開～

『2025年問題』をご存じですか？ 2025年には団塊の世代が75歳を超え、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という『超・超高齢社会』を迎えます。これが『2025年問題』です。今後多くの高齢者が地域で生活される状態となり、在宅での支援に対するニーズが高まってくると予想されます。これに先立ち、緑寿苑では2010年3月に訪問リハビリ事業を開設し、現在で約6年半が過ぎました。最初1名の利用者様からスタートした事業も、今では15名の方に利用して頂けるまでになりました。

訪問リハビリは、緑寿苑のリハビリ職員が利用者様の自宅を訪問し、様々な疾患に対して心身機能の維持や回復を図り、日常生活の自立を支援する為に必要なリハビリを行っています。具体的には、寝たきりや引きこもりなどによる廃用性の予防、また身体機能に合った改修を行いたい方などに対し、リハビリ目線で評価し、日常生活の練習、運動療法、福祉用具・住宅改修などのアドバイスを行っています。しかし、在宅生活での問題点は千差万別で、直に解決していく事に難しさも感じています。リハビリ職としてどう向き合うべきか？何が出来るのか？を試行錯誤しながら日々尽力しています。これからも、長年暮らしてきた地域での生活を続ける為の手段として、訪問リハビリの可能性が広がっていくと感じています。興味のある方はお気軽に緑寿苑までお問い合わせください。お待ちしております。

作業療法士 岡田



ご家族様へ

11月から感染予防対策の一環として、「面会時のマスク着用」をお願いしております。気温も低下し、感染症の流行する季節となってきました。感染症対策に、ご理解・ご協力くださるよう、よろしくお願い致します。



行事案内

喫茶活動 2階(毎週木曜日開催)

3階(毎週火曜日開催)

クリスマス会：12月7日(水)14:00～



老人保健施設 緑寿苑 〒675-0101 加古川市平岡町新在家1197-3

〔TEL〕079-425-2270 〔FAX〕079-424-3134

居宅介護支援事業所

〔TEL〕079-424-3214

平成28年11月号

